

富 理数科通信

第3号

発行日：平成30年5月7日（月） 担当：児玉

エヌエフ回路設計ブロック社からの実験機器の寄附

この度、エヌエフ回路設計ブロック社（横浜市）より、山口高等学校の理科教育充実への支援を行うことを目的として、下記の実験機器を寄附していただきました。4月20日（金）に行われた贈呈式には、株式会社エヌエフ回路設計ブロック（横浜市）社長 高橋常夫 様、NFデバイステクノロジー（山口市）社長 西田俊彦 様が来校され、製品と目録が栗林正和 校長に授与されました。

品名	型名	台数
C/Vコンバータ	CV-242M3	8台
広帯域電流増幅器	SA-604F2	8台
コンパクト直流電流	DC30-36	1台

これらの機器は、微弱な電波などを検出する実験に使用できる極めて高精度な機器で、今後、理数科で行う課題研究や物理の授業を中心として、幅広く活用させていただく予定です。なお、当社様からは、平成24年にもデジタルオシロスコープと信号発生器の寄附を受けており、実験における計測や授業で利用しています。

昨年8月には、理数科2年次生の科学技術体験学習において、グループ企業であるNFデバイステクノロジー社を訪問し、研修をさせていただきました。人工衛星に搭載するような高精度な電子機器を製造されており、品質管理を徹底されていることが印象的で、物づくりの姿勢についても学ばせていただきました（右の写真）。

生徒のみなさんは、実験や研究に取り組む際に、これらの機器を積極的に活用してみてください。新しく実施できる実験も増え、ユニークな研究がスタートすることを期待しています。

今後、教育活動の成果を発信することで、御支援に対する感謝の想いをお伝えしたいと思います。



高橋様（左）から栗林校長（右）へ目録の贈呈



御寄付いただいた機器



NFデバイステクノロジーでの研修(昨年8月)

理数科新入生セミナー30

理数科1年次生を対象とした新入生セミナーを、4月22日(日)から23日(月)までの日程で、山口高等学校と国立山口徳地青少年自然の家を会場として実施しました。徳地の木々は新緑が眩しく、何種類もの鳥のさえずりが重なり合って聞こえ、冬の寒さから解放された生きものたちが春の日差しを楽しんでいるように感じられました。ウォークラリーの時には汗ばむくらいの陽気で、虫に刺されないように長袖のジャージを着るのが辛いくらいでした。また、空に広がっていた雲も天体観測の前には晴れ、510mm反射望遠鏡を通して見える月は間近にあるように表面の凹凸がはっきりと見えました。「天体観測の時には寒いので、防寒具を必ず持参してください。」と新入生には伝えていたのですが、寒さを感じることはなく、天体観測に集中できました。何度か新入生セミナーに参加していますが、天体観測の時に寒さを感じなかったのは初めてです。

研修は盛りだくさんで、授業もありました。英語の授業は、まず、自己紹介を行いながら英会話に親しむ内容でした。そして、英語の文章を読んで推理するクイズ形式の問題では、つい日本語が出てしまうほど集中していました。数学の授業では、トランプのマジックを数学的に分析し、ネタの解明に挑みました。その他、実験データの統計処理や言葉による的確な情報伝達など、科学的な探究に必要な考え方について学びました。

新入生セミナーには、栗林正和校長先生をはじめ多くの先生方が参加してくださり、また、国立山口徳地青少年自然の家の職員の皆様の御支援を受け、おかげさまで充実した研修となりました。



杉原副校長先生の御挨拶



実験データの統計処理



数学の課題に集中!



トランプマジックのネタを解明?



英会話で楽しくコミュニケーション



栗林校長先生からの激励



新緑の中のウォークラリー



美味しいご飯で話もはずみです



宿泊棟は広くて快適です